

## タシギ（シギ科） 全長26センチ

8月1日、神宮寺下川原の広大な田んぼにタシギが飛来した。

この時季、毎年のように決まった田んぼの畦道に現れます。国内では旅鳥とされることから、繁殖が終り渡りの途中に立ち寄ったのでしょうか。この日は八朔と言い旧暦の8月1日のことで、丁度この頃早稲の稲穂が咲き始めることとされます。大きく伸びた稲は50センチほどになりました。

広大な田んぼを丁寧に探し回ったところ、3羽のタシギが見つかりました。この場所はタシギの中継地点になっているのでしょうか。草が綺麗に刈り取られた畦道でくつろぐタシギ。殆ど動きませんが警戒心は強く、50メートル程離れた場所から眺めていても、稲の中に身を潜めます。



真っすぐな長いクチバシ。

畦道から田んぼの中に降りると、畦の斜面を長いクチバシで突き始めた。ミミズなどを探しているの  
でしょう。

早春の3月28日、大曲バイパス近くに7羽のタシギが飛来しましたが、それからわずか4か月後に  
神宮寺に現れました。



畦道の上で良く休んでいる。



餌を探していたのだろう、クチバシには土がついている。

繁殖地と越冬地を行き来する、長い渡りが始まったのでしょうか。中継地点の神宮寺には長くは滞在せず、まもなく長旅が始まることでしょう。無事を祈ります。



水田から畦道の斜面を探し始めた。



何回もクチバシを深く刺し込んだ。